

第2回学校教育の在り方に関する地域懇談会

日 時 令和6年1月20日(土)

午後1時30分～午後3時

会 場 柳沢地区コミュニティセンター

次 第

1 開 会

2 教育長挨拶

3 事務局職員紹介

4 説明

・学校教育の在り方に関するアンケート結果について

5 意見交換

6 閉 会

《主催：滝沢市教育委員会》

市内学校の児童生徒数・学級数の見込み

資料No.1

(1)小学校

R5.5.1時点(ただし、姥屋敷・柳沢小中はR5.12.1時点)

小学校		R5		R6		R7		R8		R9		R10		R11	
		通常学級	支援級	通常学級	支援級	通常学級	支援級	通常学級	支援級	通常学級	支援級	通常学級	支援級	通常学級	支援級
篠木小	児童数	300	3	307	3	299	3	290	3	288	3	269	3	249	3
	学級数	12	2	12	2	12	2	12	2	12	2	12	2	12	2
滝沢小	児童数	743	18	728	18	707	18	687	18	672	18	648	18	592	18
	学級数	24	3	24	3	24	3	23	3	23	3	22	3	20	3
滝二小	児童数	449	25	449	23	448	23	444	23	455	23	433	23	403	23
	学級数	17	5	16	5	16	5	16	5	16	5	15	5	14	5
鵜飼小	児童数	567	28	539	28	505	28	478	28	423	28	389	28	361	28
	学級数	19	6	19	6	18	6	17	6	15	6	14	6	13	6
一本木小	児童数	111		102		98		97		77		77		79	
	学級数	6		6		6		6		6		6		5	
姥屋敷小	児童数	14		13		12		9		10		8		9	
	学級数	3		3		3		3		3		3		3	
柳沢小	児童数	17		16		18		17		16		15		11	
	学級数	3		3		3		3		3		3		3	
滝沢東小	児童数	243	1	227	1	233	1	220	1	217	1	210	1	212	1
	学級数	10	1	10	1	10	1	10	1	9	1	8	1	9	1
中央小	児童数	582	19	595	19	554	19	550	19	527	19	511	19	497	19
	学級数	19	4	19	4	18	4	18	4	18	4	18	4	18	4
小計	児童数	3,026	94	2,976	92	2,874	92	2,792	92	2,685	92	2,560	92	2,413	92
	学級数	113	21	112	21	110	21	108	21	105	21	101	21	97	21
合計	児童数	3,120		3,068		2,966		2,884		2,777		2,652		2,505	
	学級数	134		133		131		129		126		122		118	

(2)中学校

中学校		R5		R6		R7		R8		R9		R10		R11	
		通常学級	支援級	通常学級	支援級	通常学級	支援級	通常学級	支援級	通常学級	支援級	通常学級	支援級	通常学級	支援級
滝南中	生徒数	641	18	619	16	616	19	572	18	569	21	560	17	561	13
	学級数	19	4	19	3	19	3	18	3	18	3	18	3	18	3
滝二中	生徒数	382	25	382	21	346	19	350	14	334	12	343	12	344	10
	学級数	13	6	13	4	11	4	11	4	11	3	12	3	12	3
一本木中	生徒数	59		63		66		58		59		56		53	
	学級数	3		3		3		3		3		3		3	
姥屋敷中	生徒数	7		8		9		11		7		6		3	
	学級数	2		2		2		2		2		2		2	
柳沢中	生徒数	10		10		7		8		8		9		9	
	学級数	2		2		2		2		2		2		2	
滝沢中	生徒数	481	12	522	12	552	12	554	15	567	17	531	18	525	22
	学級数	14	3	16	2	17	2	17	2	17	3	16	3	16	3
小計	生徒数	1,580	55	1,604	49	1,596	50	1,553	47	1,544	50	1,505	47	1,495	45
	学級数	53	13	55	9	54	9	53	9	53	9	53	9	53	9
合計	生徒数	1,635		1,653		1,646		1,600		1,594		1,552		1,540	
	学級数	66		64		63		62		62		62		62	

※今後、住所異動、区域外就学等により変更となる場合があります。

過小規模校学年毎児童生徒数の見込み

資料No.2

(1)姥屋敷小学校・姥屋敷中学校

R5.12.1時点

年度	R5							R6						R7							
小学校学年	1	2	3	4	5	6	計	1	2	3	4	5	6	計	1	2	3	4	5	6	計
児童数	0	2	1	3	3	5	14	4	0	2	1	3	3	13	2	4	0	2	1	3	12
中学校学年	1	2	3				計	1	2	3				計	1	2	3				計
生徒数	1	2	4				7	5	1	2				8	3	5	1				9

年度	R8							R9						R10						R11								
小学校学年	1	2	3	4	5	6	計	1	2	3	4	5	6	計	1	2	3	4	5	6	計	1	2	3	4	5	6	計
児童数	0	2	4	0	2	1	9	2	0	2	4	0	2	10	0	2	0	2	4	0	8	1	0	2	0	2	4	9
中学校学年	1	2	3				計	1	2	3				計	1	2	3				計	1	2	3				計
生徒数	3	3	5				11	1	3	3				7	2	1	3				6	0	2	1				3

(2)柳沢小学校・柳沢中学校

年度	R5							R6						R7							
小学校学年	1	2	3	4	5	6	計	1	2	3	4	5	6	計	1	2	3	4	5	6	計
児童数	4	2	3	4	1	3	17	2	4	2	3	4	1	16	3	2	4	2	3	4	18
中学校学年	1	2	3				計	1	2	3				計	1	2	3				計
生徒数	3	4	3				10	3	3	4				10	1	3	3				7

年度	R8							R9						R10						R11								
小学校学年	1	2	3	4	5	6	計	1	2	3	4	5	6	計	1	2	3	4	5	6	計	1	2	3	4	5	6	計
児童数	3	3	2	4	2	3	17	2	3	3	2	4	2	16	1	2	3	3	2	4	15	0	1	2	3	3	2	11
中学校学年	1	2	3				計	1	2	3				計	1	2	3				計	1	2	3				計
生徒数	4	1	3				8	3	4	1				8	2	3	4				9	4	2	3				9

※今後、住所異動、区域外就学等により変更となる場合があります。

学校教育の在り方に関するアンケート調査結果

滝沢市教育委員会

1 アンケート調査の概要

令和3年度から4年度にかけて、「学校教育の在り方」について総合的な検討を行うために、有識者による検討委員会（委員20名）を設置し、市内小中学校の子ども達にとってより良い教育環境について協議を重ね、検討委員会による報告書が令和5年3月に提出されました。

市教育委員会では、この報告書を基に、滝沢市の未来を担う子ども達にとって望ましい教育環境の充実に向けて、複式学級が存在する地域の保護者や地域の方々との協議を進めております。本アンケートは、未就学児及び児童生徒を持つ保護者と、地域の方々の意向を把握し、今後の学校教育の在り方について検討する上での参考とするために実施したものです。

2 調査期間

令和5年11月1日（水）から11月30日（木）まで

3 調査対象

- （1） 姥屋敷及び柳沢地域内に住所を有する未就学児及び児童生徒の保護者
- （2） 姥屋敷及び柳沢地域内にお住まいの方

4 調査方法

- （1） 児童生徒保護者に対し学校経由で配付。未就学児保護者には郵送で送付。
- （2） 回覧板で全世帯へ配付

※（1）（2）ともに用紙による回答の他、Web版での回収を実施

5 回収結果（2地域分）

区分	対象世帯数	回答数	回収率
未就学児及び児童生徒保護者	40	33	82.5%
地区住民	360	42	11.7%

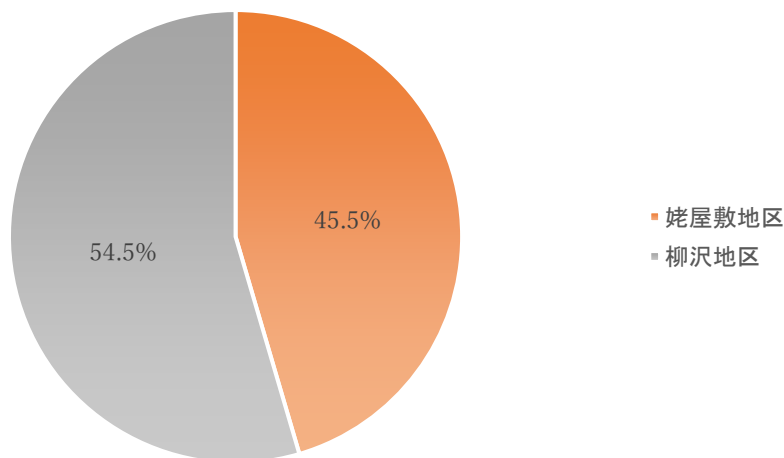
6 アンケート調査結果（※）

- （1） 学校教育の在り方に関するアンケート集計
- （2） 学校教育の在り方に関するアンケート集計

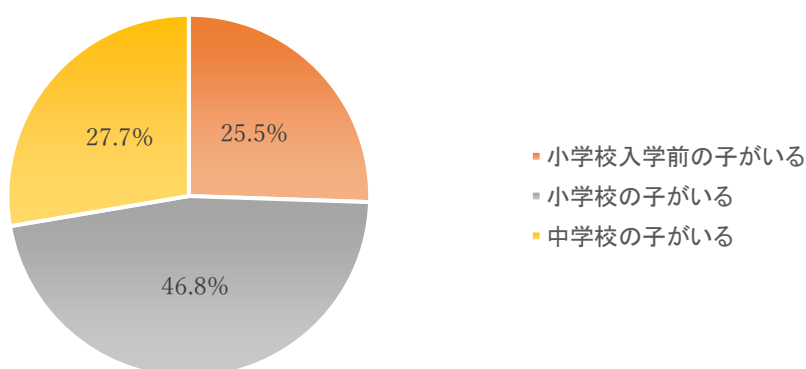
※ 意見等は各地域分を抜粋し掲載しています。

(1)学校教育の在り方に関するアンケート集計 (保護者用)

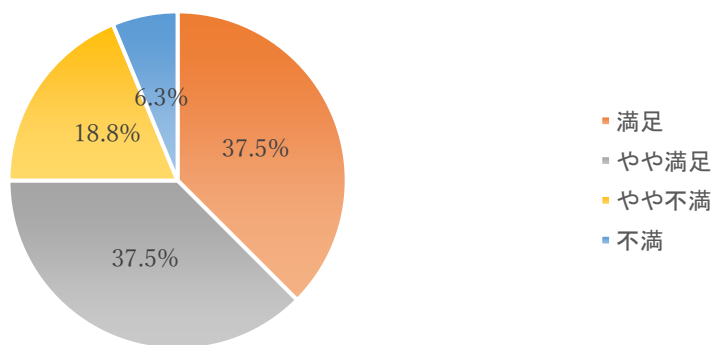
Q1 あなたのお住まいの地域を選んでください。



Q2 お子様について、当てはまるものを全て選んでください。(複数回答可)

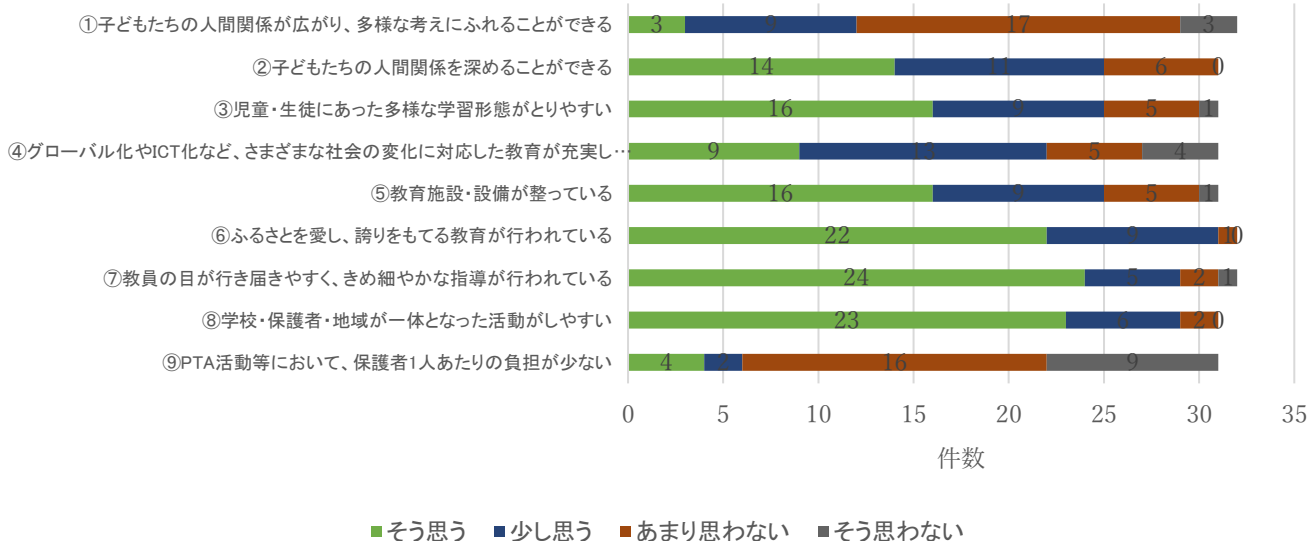


Q3 お子様現在通学している学校について、学習面、生活面、通学面、施設面を総合した満足度を、選択肢から1つ選んでください。



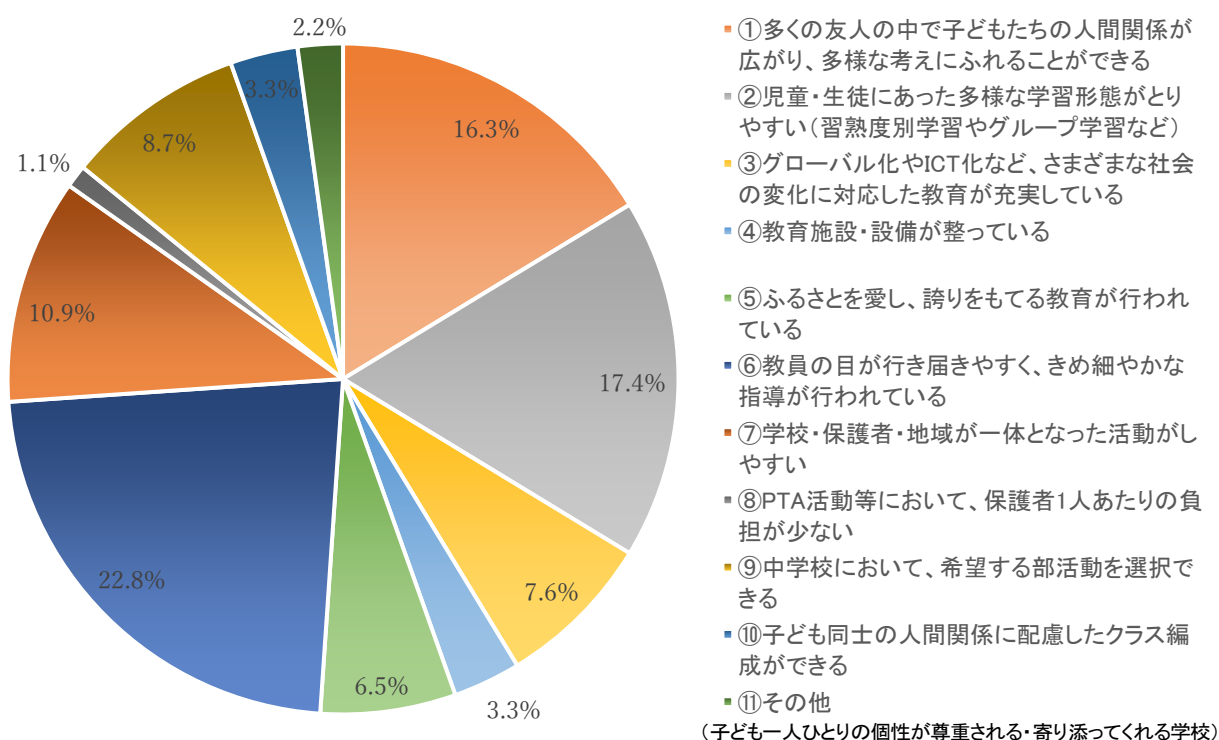
⇒75%の保護者が、満足またはやや満足と回答しており、現在通学している学校への満足度は高くなっています。

Q4 お子様現在通学している学校について、各項目であなたに近い選択肢を、1.そう思う～4.そう思わないの中から、1つ選んで○をつけてください。



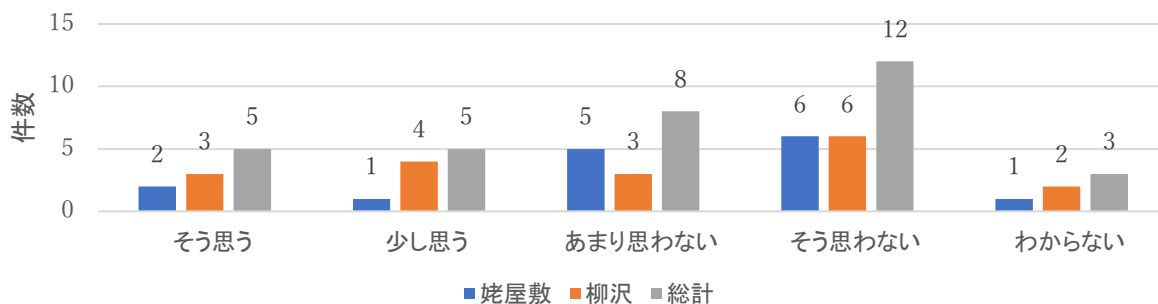
⇒現在通学している学校に対し、約70%の方が⑥、⑦、⑧の項目について高く評価している一方、①、⑨、④の項目については低い評価となっています。

Q5 どのような学校にお子様を通わせたいですか。選択肢から3つ選んでください。



⇒お子様を通わせたい学校の重点項目は、高い順に⑥、②、①となっています。一方で、⑧、④、⑩の項目の重点度は低くなっています。

Q6 子ども達にふさわしい教育環境として複式学級の解消が望ましいとの方針が示されたことについて、あなたの考えに近い選択肢を、1.そう思う～5.わからないの中から1つ選んで、○をつけてください。



⇒「あまり思わない」24.2%、「そう思わない」36.4%、併せて60.6%の方が、複式解消については望ましくないと回答しています。

Q7 Q6で回答した理由について（柳沢地区抜粋）

■そう思う、少し思う理由

- ・一人の先生が2つの学年を同じ時間で交互に教わることに自分は経験がないが、子供達は待ち時間があるのではないか。
- ・中学校は複式にするべきではない。
- ・より集中して授業を受けることができると思うから。
- ・人数が少ないので複式学級はやむを得ないと思うが授業面を考えると望ましくないと思うため。
- ・複式でやっている授業などが、一人だと負担が大きくなる。（複数回答）
- ・先生が一人で2学年を授業するのは大変だと思う。低学年の時はいいが、学年が上がった時に同じ教室に他学年がいる事により面と悪い面が出てくると思う。

■あまり思わない、そう思わない理由

- ・自身が複式学級だったがあまり不便を感じなかった。統合などを見直す前に、柳沢の学校自体は新しいので学区の変更などを考え直して欲しい。
- ・複式学級でも十分な学習ができていること、下級生が上級生の授業を見て予習できることもあるため望まない。
- ・下の学年は上の学年の姿を見て成長すると思うし、上の学年は下の学年のお世話をし、思いやりの心を持つ、成長すると思う。（他、他の学校では経験できない等、複数回答）
- ・同級生が少ない場合、複式は嬉しい。しかし、小6、中3になると、自分の学年のみで行動をしたい気持ちも出てくる。近年は同級生が少なすぎて活気がなくてかわいそうに思う。
- ・報告書の子どもに対する「デメリット」について、実感することがほとんどない。社会に出れば、年齢の異なる人との組織が構成されることが多く、その点で複式学級は実社会に近い経験ができていると感じている。同級生の気の合う者のグループで行動する時間が多いより、気が合う合わないに限らずその場にいる人と上手な距離感で人間関係を築いていく貴重な場となっていると思う。
- ・人数が多い環境が合わない子にも対応可能なように様々な学校があつてよいと思う。
- ・少人数により自主性を身につけ、「リーダーシップとフォロワーシップ」のような複式の良さを生かす学校作り

に目を向けるのも良いのではと思う。

・学校の指導要領などについては要領通りにいかないと思う。でも、上や下の学年と一緒に過ごすことで成長できることはたくさんあるし、何より上の学年と一緒にになった時に身に着けたことを下の学年と一緒にになった時に活かそうとして、子どもの自立心などが身につけられると思うから。

■わからない

・複式学級の良さを実感しており、子どもも今のままが良いと言っているが、近隣の学校との交流学习を実施した上で判断していきたい。またとても急な提案のため、統廃合については慎重に進めてほしいこと、学校までは歩きまたは自転車での通学を望むので、学校が変わることは今は希望しない。

・メリット・デメリットが同じくらいあるため、子ども達にふさわしい環境がこれだと一概には言い切れないため。

Q8 お子様の現在の学校に対するご意見・ご要望等について（柳沢地区抜粋）

・満足です。先生方は子供たちのために様々な対応をしてくださっており感謝している。（複数）

・コロナが流行していた時に入学し、通常の行事ができなかった。今年度になり少しずつ行事へ保護者・地域の方の参加が可能になって、改めて素晴らしい学校だと思っている。小規模校だからこそできる授業や行事をどんどんやって欲しい。ネットや AI が増えている時代、しっかりと「人と人」(地域・学校)が関わり合い、多様なことが学べる学校でいてほしいと願う。

・人数が少ないことをもっと活かした学校活動をしてほしい。各行事、生徒の意見をもっとたくさん取り入れ、達成感を持たせたい。

・部活動を選択できるようにしてほしい。

・PTA や先生方の人数に対して、役割が多いと思う。

・全員ではないが、学校の先生方の適当さが酷すぎる。話し合いを数回行ったが改善することは無い。……

・通学路がしっかり整備されていないので、登下校が心配でガードレールの設置を希望。一定間隔でカメラ等の防犯対策も。

・上の子は卒業しており、下の子は小学校でお世話になっているが少人数のクラスのおかげが学力はそこまで悪くないので満足している。また、発表の機会が多く、自主性も育まれとても良かったと感じている。

・今のところ、少人数であることのメリットしか感じていない。少人数であることで、他と比較し不利にならないよう先生がしっかり対策し、様々な工夫と知恵でデメリットにある部分をカバーして下さっているからだと思う。素晴らしい柳沢の先生方には感謝しかない。

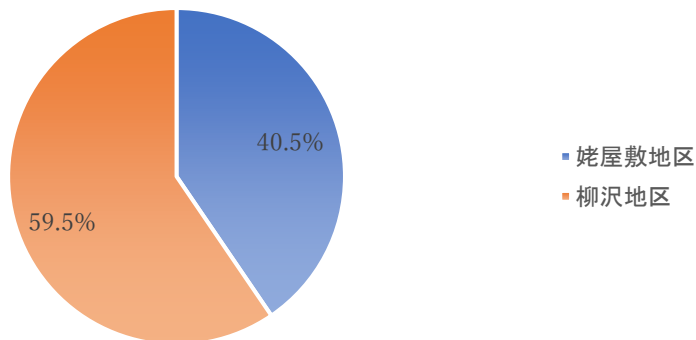
・人数が少ない分、子ども 1 人 1 人に目を向けてくれて、とても感謝している。学校行事やPTA活動もいつも見ている顔見知りのPTAなので不安なことを相談できる。複式のままでも柳沢小学校は残れば良いと思う。

Q9 その他、本市の学校教育の在り方に関するご意見・ご要望等について（柳沢地区抜粋）

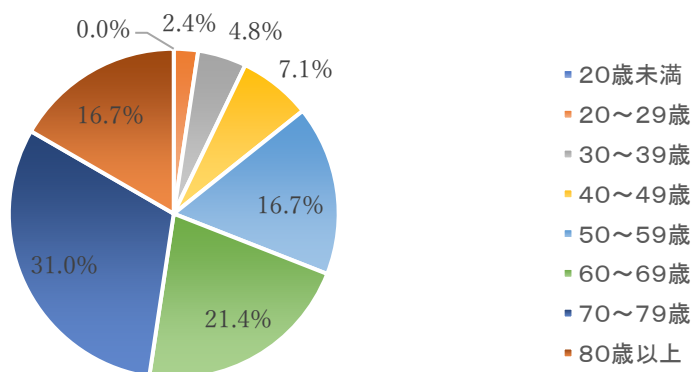
- ・学力向上、スポーツも大切なことだが、滝沢市でしか学べないこと（伝統芸能、りんご、岩手山、自然活動等）を積極的に取り組めたら嬉しい。（子どもに滝沢を好きになって欲しい！）
- ・一本木のようにスクールバスを出してほしい。送迎など親の負担が大きすぎる。福祉バスが暇そうに停まっているので、それを活用したらよいのでは。
- ・通学路の安全の見直しを今一度お願いしたい。元々狭い道に大きい草や木が生えていたり、看板が少なかったり、街灯が少ない。できる限り自分の子が歩く道は草刈りしているが、車両（トラックも多い）がすれすれを通るので、作業も怖い。毎年伝えているが、なかなか改善されない。また市にも県にも何度か直接お願いしているが、真剣に向き合ってくれずに困っている。人が少ない地域だからこそ、何かあったら誰も気が付かない、助けにきてくれない。事故が起きてからでは遅い。一緒に子どもたちの命を守る具体的な案を実際に道路を見ながら考えていただきたい。よろしくお願いします。
- ・小学〇年の長男がいるが、教育の在り方はとてもすごいと思う。一人ひとりに寄り添った教育であり、少人数ならではのと思う。ただ、通学路が心配である。
- ・廃校には反対です。（複数）
- ・複式学級でも満足しているが、市の設備費等や先生方の負担を考えると、合併せざるを得ないのかなとも感じている。ただ、その際に子供間のトラブルや、保護者同士での摩擦は絶対にさけたいと思うので、そのケアや準備は入念にすべきと考える。（以前、他校の保護者から柳沢とは絶対一緒になりたくないとの話を聞いたことがありましたので不安である。）
- ・市が考える「子どもファースト」の学校教育とはどのようなものか教えていただきたい。小規模校、複式学級の今後の在り方について、「滝沢市の学校教育に関する説明会・アンケート」では、タイトルが漠然としすぎていて、内容をイメージしにくいと思う。本当に様々な立場の人たちから意見を集め、検討していきたいのであれば、一般の人がイメージしやすく、分かりやすいタイトルで説明会やアンケートを実施したほうが良いのではないかなと思う。
- ・今の地域に住んでいる一番の魅力は手厚い教育だと思っている。学校も商店も存在しない地域に子育て世代の人たちが住み続けるでしょうか。どの地域でも学校が存在しなければ（あるいは、通学が不便であれば）、地域の過疎化はさらに進むのではないかなと思う。
- ・小さい学校には小さい学校の良い面もあり、もっと他学校との交流があればいいと思っている。子供は小さい時から一緒に友人と過ごすのが、人と接する時間が少ないと思う。なので同学年の子と少しでもかかわる事ができるといいと思っている。
- ・小規模校に通いたいと思う大規模校に通学している子いるのではないかな。スクールバスを出して、小規模校に通わせるのも良いと思う。

(2)学校教育の在り方に関するアンケート集計 (地域用)

Q1 あなたのお住まいの地域を選んでください。

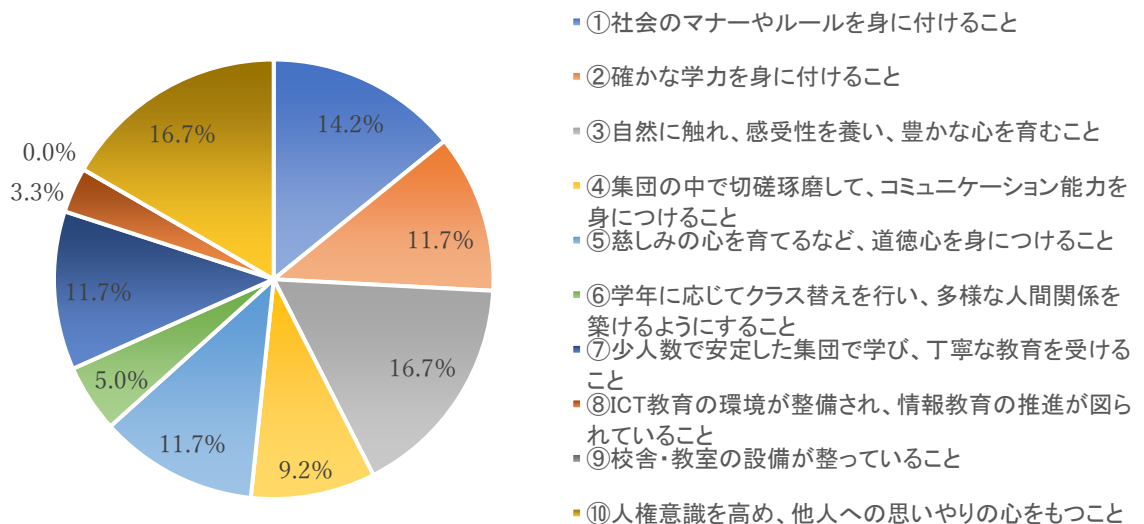


Q2 あなたの年齢を教えてください。



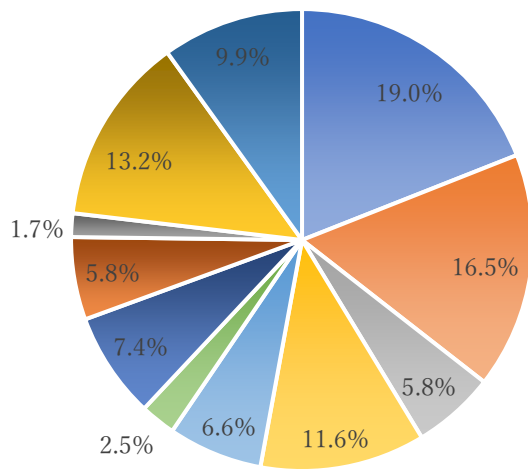
⇒60代から70代の方の回答数が全体の半数以上を占めており、40代以下の方からの回答数は14.3%となっています。

Q3 小学校では、基礎的な学習を習得することを基本としていますが、そのほかに、小学校教育で大切だと思うことは何ですか。選択肢から3つを選んでください。



⇒小学校教育で大切だと思うことは、高い項目から順に、③、⑩、①、②、⑤、⑦となっています。一方、⑧、⑨の項目については、低くなっています。

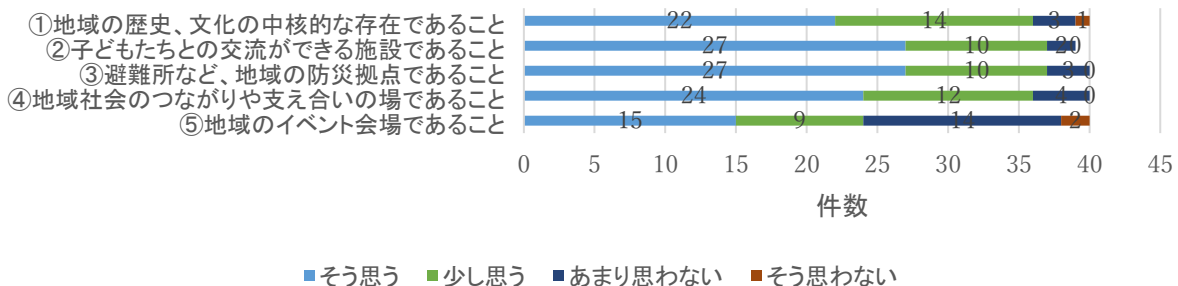
Q4 中学校では、基礎的な学習を勉強した上で、心身の成長に応じた応用的な内容の習得を基本としていますが、そのほかに、中学校教育で大切なと思うことは何ですか。選択肢から3つ選んでください。



- ①社会のマナーやルールを身に付けること
- ②確かな学力を身に付けること
- ③自然に触れ、感受性を養い、豊かな心を育むこと
- ④集団の中で切磋琢磨して、コミュニケーション能力を身につけること
- ⑤慈しみの心を育てるなど、道徳心を身につけること
- ⑥学年に応じてクラス替えを行い、多様な人間関係を築けるようにすること
- ⑦少人数で安定した集団で学び、丁寧な教育を受けること
- ⑧ICT教育の環境が整備され、情報教育の推進が図られていること
- ⑨校舎・教室の設備が整っていること
- ⑩人権意識を高め、他人への思いやりの心をもつこと
- ⑪部活動を通して豊かな経験をし、成長すること

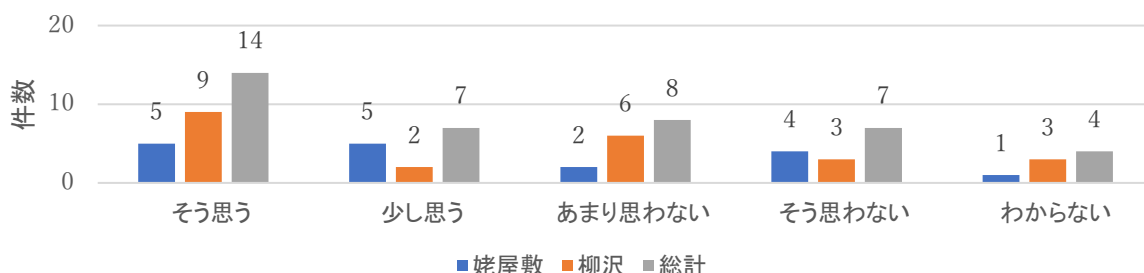
⇒中学校教育で大切なと思うことは、高い項目から順に、①、②、⑩、④となっています。一方、⑥、⑨の項目については低くなっています。

Q5 問3、問4の学校教育以外で、地域における小学校、中学校の役割について、各項目であなたの考えに近い選択肢を、1. そう思う～ 4. そう思わないの中から1つ選んで○をつけてください。



⇒地域における学校の役割について、高い項目は②子ども達との交流の場であること、および③地域の防災拠点であることとなっています。

Q6 子ども達にふさわしい教育環境として複式学級の解消が望ましいとの方針が示されたことについて、あなたの考えに近い選択肢を、1. そう思う～5. わからないの中から1つ選んで、○をつけてください。



⇒「そう思う・少し思う」52.5%、「あまり思わない・そう思わない」37.5%、「わからない」10%となり、約半数以上の方が複式学級の解消が望ましいと回答しています。

Q7 Q6で回答した理由について (柳沢地区抜粋)

■そう思う、少し思う理由

- ・各学年ごとのカリキュラムに沿って、勉強するのが良いと思う。
- ・中学生は、いろいろな友人と出会い、多くの部活動のなかから好きな活動を選択するべきだと思うので、複式学級ではないほうが良い。
- ・昔は 50 人学級で、障がい者、学力の高い人、低い人等多くの児童生徒が混じっていた。その中で多様性、助け合いなども学べたと思っていることから。
- ・自分も複式学級を経験しているが、国語など上の学年の教科書は難しく感じたため。
- ・生徒として複式学級の実験があるが、中学生に上がり他の学校の子と一緒にあったとき学力の差をとて感じ、現実を受け入れる寂しさ子供心で苦しんだから。
- ・自分は体験したことはないが、周囲に気を取られ、身が入らないのではと思う。
- ・私の子供達は、小学校時代に複式学級だったが子供達にとってどうだったかと言うと、年齢は1歳違いたが、正直やりにくさ等があったようだった。実際私も心の成長や体の成長にも差が出ると思うし、教育する先生方も心得なしでは教えるににくいと思う。デメリットの方が多いか・・・と思われる。でも実際問題(統合は)必要な選択肢だとも思う。

■あまり思わない、そう思わない理由

- ・マンツーマンで勉強できる。
- ・過去に子供たちは複式学級であったが、小学校の教育環境については、特に学習面や生活面での複式学級のデメリットは感じなかった。教師側からすれば、授業の準備や工夫など、普通学級の倍大変なことは想像できる。
- ・複式学級を解消し教育配置は必要であるが、解消のために学校統合は行わないでほしい。
- ・下の学年も予習できるし、上の学年も復習できる。また、上の学年が下の学年に教えるなどできる環境は学力向上にもつながると思う。(複数)
- ・兄弟姉妹の少ない児童らに交流のメリットがある。
- ・複式であっても学習内容には変わりはなく、逆にお互いの学年の内容に興味を示す事もあり、複式ならではの下級生には思いやりや先輩の自覚、また上級生には優しくしてくれた事や憧れを持つ事での親密な関係構築を築く事で、いじめなどあり得ない、暖かいクラスだった。我が子は、帰省の度に毎年毎回クラスメンバー欠ける事なく、コミュニティーセンターで集まっている。時代は変わってもこの狭いコミュニティーは変わらず宝である。
- ・これからの未来を生きていく上で、多様な考えを持つ人がいた方が良いと思うから。大規模校で育った子、平均的規模校で育った子、小規模校で育った子(複式含む)、それぞれいろいろな良さの育ちがあると思う。メリット、デメリット含め、違う環境で学び、遊び、先生たち、地域の方との交流をすることが、子にとっても大人にとっても良いことだと考える。

■わからない

- ・複式のメリット、デメリットを考えると、単純に良い、悪いと答えられない。
- ・大規模校のメリット・デメリットは、大人になって素晴らしい経験と免疫も養われるし、複式学級の地域性も丁寧な教育の中の経験でメリット・デメリットがある。ため、天秤にかけることが難しい。複式学級を継続するには予算が必要であり、財源ありきとなるため、「わからない」。

Q8 その他、本市の学校教育の在り方に関するご意見・ご要望等について（柳沢地区抜粋）

- ・社会の流れとして、進学率が高くなるにつれて、夫婦共働きが必然となるので、高等教育を進める為に福利厚生充実の充実を考えてほしい。（例として、学童、保育園、幼稚園の無料化）
- ・子供の数の減少については心配しており、近所の子供からの情報でも、人数が少ないために行事が減ったり、以前のような活動が出来ないといったことを聞いている。ですから、スクールバスを出すなどの措置があれば、統合や閉校もやむなしかな、と思う。
- ・学校統合はやむを得ないと思う。廃校後の校舎の使い方にも関心がある。例えば、開拓記念館、民俗資料館など、地域の歴史・文化の伝承に資するものなど。
- ・複式学級解消＝統合という考え方をやめてほしい。単式学級にするために、どんな取り組みがあるかも考えていくべきだと思う。
- ・懇談会での意見及び今回のアンケート結果を早く集約、分析し、行政の考え方を地域に示し、今後の方向性を出すことが大切と思う。
- ・もっと学力に力を入れてほしい。数字的に結果を出してほしい。スポーツに偏っている気がする。文武両道か。
- ・子育て世代が安心して生活できる環境づくりが肝要。今の日本は、教育・福祉がおざなり。沿岸方面は学校統合ばかり。柳沢小中は地域のシンボル。教育の大幅増によってこそ、教育現場がいきいきできると思う。学校の存続が日本再生のキーワードと思う。
- ・少子化の昨今、複式学級や統廃合は避けられない現実と考える。ただその情報共有ができていない、また住民が問題意識をほとんど持っていないと感じる。もう少し教育現場をオープンにして SNS なり web サイトからでも現代はお知らせしたらと思う。9/25に行われた地域懇談会のテーマも統廃合や複式を連想させるものではなく、人を集める気がないなと感じた。なにかと教育にはクレームが多く寄せられる事情は理解するものの、小規模校に限らず子どものためではなく大人の都合で運営されているのを感じる。これは滝沢市の教育委員会だけの問題ではなく文科省、国の立ち位置と思う。ひいては行政に横串をさし別分野と連携することで(企業、保育園、老人施設とか)予算を効率よく使う改革が必要と思う。

またITリテラシーはこれからの子どもには国算理社以上に必須なものである。倫理や常識に今や普通はなく多様性に溢れている。全国的に教え方の上手い人のYouTube等動画で学び先生はひとりずつに関わるのがこれからの教育であることを理解し進めてほしいと思う。コロナ禍の影響もあり地域との交流は、あいさつさえ不審者扱いされる時代ですがせめて顔見知りくらいになれるといいと思う。

教育者の環境は大変厳しいものとも個人的には理解している。また保護者の意識改革も必要である。統廃合は避けられないわけなのでどこに着地点を求めるかを両者共に模索できると良いなど。うちの子もいろいろあったが9年間お世話になり今となってはいい思い出である。

実際のところ現在学校に関わる保護者よりも、すでに学校と関わりなくなった中高年の方が関心を持っているように感じた。実はそう言った層に理解を得られるのが近道かもしれない。前途多難とは察しますが、ア

【地域アンケート】柳沢地区用

アンケート結果の公表とそれに対する教育委員会の意見も実情を踏まえ明確にしてはと思う。ちなみに「高齢でアンケート記入はしたが学校へ持っていくのが大変」という声を聞きました。通し番号がないので重複の可能性もある。

教育者も恐れずインターネットから新しい知見を得る方が増えて、子どもや保護者をリードしていただくようになることを祈念している。

・滝沢市ならではのおもしろい教育を目指してほしい。大きな組織のルールや決まりにとらわれない柔軟な対応も必要かと思う。本当の意味での『子どもたちのため』を共に考え、行動していきましょう。そのため、実際に子とその親、先生方などに直接話を聞き、何が必要で何が大切なのか、しっかり受け止めて、行政の方々は話し合っていたきたい。政策を決める前にリアルな声を聞く場を教育委員会は設けてほしい。よろしく願いたい。(地域住民・保護者としての意見)

・近年は働きすぎ・・と言われており、学校教育現場もそう思うが、人が人を育てる、教育するには実際に選ばれた人材の必要があると思う。小規模学校だからとか、大規模学校の経験があるから大丈夫とか、先生方にも深く考えてほしいと思う。幼い頃の思い出や出会いは記憶に残り成長する糧になるので、初心に帰って教育に携わっていただきたい。